

新市長に新成人が提言

まちづくりへ意見交換

八戸

八戸市は21日、本年度20歳を迎える新成人代表者と熊谷雄一市長との懇談



会を、八戸グランドホテルで開いた。参加者10人が中心市街地の活性化や災害対策、高齢者や子どもに優しい街づくりなどの問題について、独自の意見や考えを市長に伝えた。

新成人が、市長との対話を通して地元への理解を深め、市民としての誇りや自覚を高める目的で毎年開催している。

八戸工業大や八戸学院大、八戸高専など、団体の推薦や公募で選ばれた学生が参加。一人一人が自己紹介したり市の魅力などを話したりした後、懇談した。

このうち、八戸学院大の松坂優生さん(20)は市の政策が市民にうまく伝わっていないことを指摘。「SNS(会員制交流サイト)などを活用して気軽に知れるようにしてほしい」と訴えた。これに対し、熊谷市長は「市の考えを伝えられるだけでなく、市民の意見も聞きながら街づくりにつなげられる。貴重な提言だ」と答えた。また、「一日一日を大切にしながら、夢の実現に向けて頑張ってほしい」と新成人を激励した。(松橋瑠偉)

新成人代表者と熊谷雄一八戸市長(手前右)らが意見を交わした懇談会